

令和元年第4回東海村議会定例会行政報告等要旨

令和元年 11 月 28 日

令和元年第4回東海村議会定例会の開会に当たり、行政報告等を申し述べさせていただきます。

はじめに、45年ぶりに茨城県で開催された「いきいき茨城ゆめ国体」についてでございます。

本村ではホッケー競技が行われ、9月29日から全国のブロック予選を勝ち抜いた全40チームが、阿漕ヶ浦公園と県立東海高等学校を会場に5日間にわたり熱戦を繰り広げました。この期間中は、約14,000人の方々が会場に足を運び多くの声援を送っていただきました。

茨城県代表チームの試合では、満員の観客席からの声援に後押しされたこともあり、成年男子が第4位、成年女子・少年男子がともに第5位、少年女子は第9位という成績を収めることができました。

また、大会3日目には、高円宮妃久子殿下が御観覧になったほか、国体総合閉会式前には、秋篠宮真子内親王殿下が役場にお立ち寄りになるなど、貴重な機会を得ることもできました。

大会期間をとおして天候にも恵まれ、大きなトラブルなどもなく運営できましたのは、大会に携わられた皆様のご協力の賜物と思っております。改めまして大会の準備から運営まで携わっていただいた全ての方々に、感謝申し上げます。

来年は東京オリンピックが控えております。茨城国体が一過性の盛り上がりとならぬよう、スポーツを通じたまちづくりに繋げられるよう努力してまいりたいと考えております。

次に、「アイダホフォールズ一般訪問団の来村」についてでございます。

去る10月31日に、国際親善姉妹都市である米国アイダホフォールズ市からシンディー・オザキ会長、ジム・フランシス市議会議員を含む18名の訪問団員が来村し、11月9日までの10日間に渡り滞在いたしました。

滞在中は一般家庭へのホームステイをはじめ、東海村茶道連盟の協力による文化祭での茶道体験のほか、東海村食生活改善推進委員・JA常陸の協力による日本料理教室やいも掘りなども体験していただきました。また、照沼小学校への訪問では、授業見学や児童とともに学校給食を味わったほか、合唱やダンスの披露など、子供たちからの大歓迎を受けました。このようなさまざまな活動を通して、幅広く多くの村民の方々と身近に交流を図り、日本の文化や習慣に触れていただくことができました。

再来年の令和3年には、姉妹都市の盟約締結40周年を迎えます。長年に渡り築き上げた両市村民の理解と友情が、さらに強い絆で結ばれ、より大きな交流の輪が広がっていくように、40周年に向けての準備を進めて参りたいと考えております。

それでは、行政報告の案件を申し上げます。

報告第16号及び第17号の寄附の受入れにつきましては、報告第16号は、鈴木^{すずき} 紀子^{のりこ} 氏から郷土学習に活用してもらうため、土地、道標及び記念碑の寄附の申出が、報告第17号は、塙^{はなわ} 南^{みなみ} 氏から村指定文化財である権現山古墳を後世に伝えてもらうため、土地の寄附の申出があり、これらを受け入れましたので、議会に報告するものでございます。

以上で行政報告といたします。